

## 特集：2009年度日本数学会出版賞受賞者のことば

### 筑摩書房「ちくま学芸文庫 Math & Science」

このたびは日本数学会出版賞をいただき大変光栄に存じます。

授賞のご連絡があった時、正直なところ辞退申し上げようと真剣に考えておりました。と申しますのもこの「ちくま学芸文庫 Math & Science」は、創刊からわずか3年経ったばかりで（当時）、「若い」というよりもまだ「幼く」、また私どものシリーズ刊行がどれほど意味を持っているのか私ども自身図りかねており、名誉ある賞を頂戴するにふさわしいかどうか、と思ったからです。悩みに悩んだ末、「いったんシリーズを始めたからには、腹をくくって、途中でやめることのないように！」との日本数学会からの喝（絶妙な企み？）と考え直し、たいへん僭越ではありますが賞をお受けすることにしました。

「ちくま学芸文庫 Math & Science」のスタッフ（渡辺英明、岩瀬道雄、海老原勇）に、数学の専門教育を受けたものはひとりもおりません。数学に関してズブの素人集団ですので、企画や内容に関しての疑問は数学書編集のプロ中のプロ、亀書房・亀井哲治郎さんや東京図書・故須藤静男さん他多くの方々のお手を煩わせました。この方たちのご助力なしには、このシリーズは到底スタートでき得なかったと思っております。編集者が出版社の垣根を越えて協力することは、人文書の世界ではきわめて稀なことで、これはひとえに数学という学問自体が持つ自由性の故かもしれません。この場をお借りして、お世話になりました皆さまにお礼を申し上げます。

厚かましくもお願いがございます。このシリーズの存続は、本を買い支えていただくことはもちろんのことですが、ひとえに企画にかかっています。「企画、命」と言っても過言ではありません。ですので、ぜひともこれぞという企画をお寄せいただきたいのです。賞を頂戴したことは大きなはげみになりますが、企画はそれ以上かもしれません。私どもと一緒にこのシリーズを面白がっていただける数学の先生方、ぜひともお知恵とお力をお貸しいただきたく思います。楽しみにお待ち申し上げます。

編集長 渡辺英明